



議会だより

いせ

第57号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (株)奄美新社印刷



平成30年2月6日(火)新しくスタートした伊仙町議会。
初議会を終え、議場にて美島議長、福留副議長を中心に記念撮影

議長就任のご挨拶



町民並びに議会だよりをご覧の皆様、毎日のお仕事お疲れ様でございます。

また、平素より議会に対する温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今回、平成30年1月28日執行の伊仙町議会議員選挙において、6期目の当選を果たすことができました。そして、2月6日(火)の「平成30年第1回伊仙町議会臨時会」におきまして、議長という重責を担うこととなり、二重の喜びと共に、身の引き締まる思いでございます。諸先輩方の意志を引き継ぎ、歴史ある伊仙町議会のさらなる発展と議会改革に誠心誠意取り組んで参る所存でございます。

さて、私たち町村議会に与えられた役割は、地方分権時代に入り、多様な活発な議論と議会人としての活動の場を広げていかなければなりません。

地方創生における町村議会の対応や、その取り組みは重要な課題であります。

人口減少社会、高齢化社会にあつて、地域住民に寄り添いながら様々な課題に迅速に対応しなければなりません。小回りの利く自治体として、伊仙町の地域コミュニティの住民活動を尊重していかねばなりません。さらに、必要に応じて速やかに手を差しのべることが出来る距離で、強力に支援していくことができる議会として努力をしなければならぬと考えているところでございます。

また、伊仙町の財政状況を注視しながら財政改革にもしっかりと意見を述べ、「監視」と「チェック」を怠ることなく伊仙町発展に寄与して参ることをお約束申し上げます。

議会と町民の信頼関係をしっかりと築き、議会は町執行部と対等の独立性を堅持しながら、伊仙町の更なる発展と町民の皆様の益々のご多幸とご活躍をご祈念申し上げます。議長就任の挨拶といたします。

平成30年3月吉日

伊仙町議会議長

美島 盛秀

第1次伊仙町議会構成

議長	美島 盛秀
副議長	福留 達也

総務文教常任委員会	
委員長	岡林 剛也
副委員長	前 徹志
委員	美島 盛秀
委員	樺山 一
委員	永田 誠
委員	清 平二
委員	牧本 和英

経済建設常任委員会	
委員長	牧 徳久
副委員長	上木 千恵造
委員	明石 秀雄
委員	福留 達也
委員	佐田 元
委員	西 彦二
委員	杉山 肇

生活環境常任委員会	
委員長	清 平二
副委員長	佐田 元
委員	美島 盛秀
委員	福留 達也
委員	西 彦二
委員	牧本 和英
委員	杉山 肇

議会運営委員会	委員長:上木 千恵造 副委員長:前 徹志 委員:福留 達也・牧 徳久・岡林 剛也 (定数5名)
徳之島地区消防組合議員	明石 秀雄・永田 誠・杉山 肇
徳之島地区介護保険組合議員	前 徹志・西 彦二・牧本 和英
徳之島愛ランド広域連合組合議員	樺山 一・清 平二・佐田 元
議会選出監査員	清 平二
徳之島三力町議会議員連絡協議会役員	美島 盛秀・福留 達也・岡林 剛也・牧 徳久
議会広報委員	委員長:前 徹志 副委員長:杉山 肇 委員:福留 達也・上木 千恵造・佐田 元 (定数5名)

議員定数:14名

現議員数:14名任期(平成30年2月3日~34年2月2日) ※委員会構成第1次 平成30年2月3日~平成32年2月2日まで

新議員からのご挨拶



杉山 肇議員

町民に皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。
平成30年1月に執行されました、伊仙町議会議員の改選に伴い、町民の皆様へ暖かいご支援を賜り、伊仙町議会議員の一員として仕事をさせていただく事となりました。皆様からのご期待に応える事が出来ますよう、私に課せられた責任をしっかりと果していきたいと思っております。

地方創生、少子高齢化による人口減少克服に向けた対策の一つでもあります、地域における若者の活躍促進、若い世代の政治参画に重点を置き、これからの社会を支える若者が、安心して“働き”安心して“結婚”し、そして安心して“子育て”ができる環境づくりに全力で取り組み、最大の努力を尽くしていきたいと思っております。

最後に、この1年が町民の皆様にとりまして、平穏な中にも、笑顔が溢れる年でありますように、ご祈念申し上げ念頭のご挨拶といたします。



牧本 和英議員

農家の皆様方におかれましては、農繁期で大変お忙しい毎日をお過ごしのことと思っております。今回の町議選では、農家の皆様方へ暖かいご支援を賜り町議会議員の一員として、仕事をさせて頂く事となりました。

私は、農家目線に立ち「農業振興」を通して、潤いと活力のある「まちづくり」を第一に考えております。徳之島の基幹作物である、さとうきびの収穫後の株出し管理作業の問題や、病害虫の早期駆除対策の推進で、単収アップを図ってまいります。また、畜産につきましても、昨年、鹿児島黒牛が「日本一」という素晴らしい快挙を成し遂げました。子牛が高値取引され、畜産農家の皆様には、大変喜ばしい事となりました。今後の課題としては、優良素牛の導入の推進。高品質で低コストの粗飼料の確保や様々な問題への対策等に取り組んでまいります。

園芸では、単収アップにつながる土壌づくり対策。また、商品の価格安定推進への取り組み等。農業で豊かに暮らし、次世代まで夢の持てる未来あるものにするため、伊仙町全体で団結し、地域の商工業と町民の生活が密につながり、共に活力を生める仕組みづくりなど、新たな創意工夫で取り組んでいきたいと考えております。

まだ始まったばかりの議員活動ですが、伊仙町発展のため精一杯頑張っておりますので、ご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。



西 彦二議員

今回の、町議会議員選挙におきまして、選出いただき誠にありがとうございます。
この度、重責を担う事となり、身の引き締まる思いと共に、責任の重大さを感じている次第でございます。

私の原点は「農業」であり、町民の皆様には日頃からお世話になっております。
今後も生産現場の声に耳を傾け、信頼を築き上げ、農業振興、農業技術、農業所得の向上、若い担い手の育成は、避けては通れない事と思っております。この様な状況下で、多様化する町民のニーズに的確に応え、農政の在り方を見直す時だと感じています。

農業関係者の意識と納得感を高めなければ、生産現場では実を結ばせしめ、町民の皆様への信頼と協力なくしては前に進むことは出来ません。

私は、7人の子宝に恵まれ、毎日子育てに奮闘しておりますが、次世代に向け「農業振興」の責務を肩に、しっかりと歩んで参る所存でございますので、町民の皆様より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



佐田 元議員

町民の皆様におかれましては、お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。
この度、伊仙町議会議員として、町政に参加させて頂く事となりました。
伊仙町発展の為、町民の皆様との「絆」を深め、町民の皆様の声、地域住民の声を町政に届けて行きたいと思っております。

今、伊仙町には様々な問題が山積していると思っております。この山積された課題を解決していくためには、私たち議会議員一人一人が、積極的な議論を交わし、問題解決に向けて「誠心誠意」取り組み、信頼される伊仙町議会にしたいと思っております。

住みよい伊仙町、夢あるまちづくりを目指して、一生懸命頑張っておりますので、町民の皆様方のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



清 平二議員

この度の伊仙町議会議員選挙におかれましては、絶大なるご支持を頂き、誠にありがとうございます。
この紙面をお借りしまして、お礼を申し上げます。

「子や孫に誇れるまちづくり」を志し、頑張っております。
幼児教育、義務教育、農業振興等、伊仙町においては様々な問題が山積しております。
35年間の行政経験を生かし、町民の声を届ける議員として、また行政と住民が一体となり、「融和と希望の持てるまち」、「誇りある伊仙町づくり」に向け頑張ります。

今後とも、皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成29年 第4回 伊仙町議会定例会 全議案
(12月12日~14日 3日間)

議案番号	議案件名	備考
承認第12号	平成29年度伊仙町一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認	可決
議案第45号	伊仙町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第46号	伊仙町水道給水条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第47号	平成29年度伊仙町一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第48号	平成29年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第49号	平成29年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第50号	平成29年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第51号	平成29年度上水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
陳情第6号	「高レベル放射性廃棄物等の持ち込みを拒否する決議」の採択を求める陳情	採択
発議第1号	高レベル放射性廃棄物等の持ち込みを拒否する決議	採択
以下余白		

次回の定例会は3月です!!

次回の定例会(第1回)は3月6日(火)からを予定しています。

ネット配信も行なっておりますが、ぜひ、生の議会を傍聴してみませんか。

手続きは簡単で、議会の当日に傍聴席入り口の受付名簿に、住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

電話番号86-3111(内線16番)

平成29年
第4回定例会

一般質問



美山 保議員

今後県へ要望していく

面縄港入り口県道改良工事について

問

県道面縄港入り口は、横断歩道がなく、道路を渡るのに大変危険を感じています。徳之島警察署による道路診断において、担当者より、ここでは3度の交通事故が発生している危険な箇所と指摘されました。そこで、面縄橋南側にも歩道橋を設置できないか。また抜本的な安全対策として早期の県道改良工事を県へ要望する考えはなにか伺います。

答

(町長) 抜本的な対策として、今後も面縄集落や面縄小学校と連携し、今後とも県の方へ要望していきたいと考えております。

(建設課長) 県徳

之島事務所建設課と徳之島警察署と協議しており、12月15日に現場立ち会いを行い、区画線を引く予定となっております。また、道路改良工事については、通学路ということもありますので、関係機関と連携し要望していきたいと考えております。

問

面縄橋は幅員が狭く、子どもたちが橋を渡る時に危険だということもあって、保護者の皆さんからも色々な声が聞かれます。面縄橋北側には歩道がありません。

問

小・中学生の通学路として毎日使っているわけです。事故を起こしているからではどうでしょうか。ありません。事故が起きる前に、そういう道路の管理を対

答

(耕地課長) 平成29年度内に、東面縄地区の1帯が地籍調査の予定に入っておりますので、それを踏まえながら進めてまいりたいと考えております。

(建設課長) そのように、今後要望していきたいと思えます。

応できるよう、地籍調査も予定されているということでありますので、それを踏まえ、県のほうに道路改修、道路拡張工事の要望を是非お願いしたいと思えます。

答

たいと思えます。



福留 達也議員

世界自然遺産登録を見据えた各種取り組みについて

問

10月にユネスコによる最終調査が行われ、来夏にも世界自然遺産登録が現実味を帯び、それに向けて、野ネコ対策、外来植物対策、エコツアーガイドの養成、ごみ等の不法投棄対策、

答

(ぎゅらまち観光課長) 喫緊の課題でもある野ネコ対策は、環境省と徳之島3町ネコ対策協議会などが連携し、山中からの野ネコの排除や、野良ネコの避妊・去勢手術等を実施。また、徳之島自然保護協議会やNPO法人徳之島虹の会が中心となり、希少野生植物の分布調査や、その盗掘、盗採防止を目的としたパトロールを実施。各種団体や住民を巻

住民への普及啓発活動などの取り組みが行われているが、現状と課題を伺う。



面縄橋



現地調査にて小原海岸の説明

き込んだ一斉ボランティア活動も行ってきました。飼い猫の適正な飼養に関する条例や希少動植物保護に関する条例等を策定したことや、国立公園指定記念式典を初めとする各種イベントも実施し、地域住民への普及活動、意識醸成にも寄与してきたと思います。課題として、今後増大が予測される観光客の大幅な増加により、自然資源の価値を損なうことなどが考えらるるるところです。

(町長) 現在、3町で奄振の非公共のソフト事業の中で予算獲得を要望している状況でございますので、今後とも3町が一体となって、このことを推進していくよう全力で取り組んでいかなければならないと考えています。

エコツアーガイドの養成について

問

徳之島の自然の多様性や岩石の分布状況、伝統文化など、島のことをきめ細かく説明できるのは、エコツアーガイド連絡協議会ということだが、ここには予算的な対応がなく、全然機能していないと聞かれます。それについてどうか伺う。

答

(未来創生課長) 現在、奄振予算の中でエコツアーガイドの養成も行っています。歴史、文化に関する特別通訳士という形で、昨年は英語版で島内10名、町内に2名の案内士を養成しました。今年に関しては、島内で3名、町内で1名の方が英語と中国語に関して受講中でありま

問

地方創生事業の取り組みの中で、定住促進や住宅政策、新規就農者に対する農業支援センターの設立等を行っていますけれども、今後、増えてくると思われる観光客に対応できるようエコツアーガイドの養成を島内に住む人達やUターン者などを育成し、活用してはどうか。また、公民館講座等でガイドの養成を行うというのは考えられないか伺う。

答

(社会教育課長) 来年度以降、公民館運営審議会等を含め、そのような講座を入れる形で進めていきたいと思います。

企業版ふるさと納税について

問

平成28年度から始まった事業であるが、現状はどうか。また、当初予定していたとおり学習支援センター建設を進めていくのか伺う。

答

(未来創生課長) 今年度は、12月11日現在、企業より370万円の寄附金をいただいている状況であります。そして今現在、地方創

生事業でサテライトオフィス(総務省100%補助)を進めている中で、たくさんの方に、企業、大学等が来町して、その中で、伊仙町の雇用を生み出しながら、伊仙町に企業も起こしたという方々が出てきています。当初、企業版ふるさと納税の寄附金で学習支援センターをとる名のもとに進めた計画であります。今それが逆にそういった企業が現われたことにより実現可能になったんじゃないかと考えております。

町長選挙を振り返って

問

期日前投票の混雑や白熱した選挙戦を振り返り、何か思うことはあるか。

町民のエネルギーを政策へ

答

(町長) 今回の期日前投票に関して、高齢者の方々、自分の意思表示ができない方が寒い中、ずっと待機していたこと、これは本当にいたたまれない状況を生んでしまったというふうに、私自身、選挙も含め大いに反省すべきだったと思います。



また、たくさんの方々が選挙にかんがいのエネルギーを費やさなければならぬという状況で、そのことが過熱するということは過去にもありました。それが伊仙町民のエネルギーなのか、町民性なのか、そのことが本当にこの町を素晴らしい町にしていくというふうに、そのエネルギーを良い方向に結びつけていかなければいけないと思います。近年、全国各地で若者や高校生が町を動かしてきたという報告も出てきています。そのような若者も含め、本当にどうしたら豊かな島ができていくのか。というような政策論議を中心とした選挙であれば、ものすごい政策ができるんじゃないかと思っております。



美島 盛秀議員

町長選挙における公職選挙法違反事件について

問

10月22日に執行された町長選挙において、現職派の男性運動員が公職選挙法事前運動買収申込みの容疑で逮捕されたという記事が掲載されました。今回の事件は、大久保町長派の組織的な買収計画ではなかったか伺う。

答

(町長) このことは、全く寝耳に水の話でございませぬ。1年前に出馬表明いたしてから、多くの町民と語り合う機会が、過去になかったほどありました。そして町民の声を聞く度に、色々な反省すべき点もあり、または政策が評価されることもあり、私はこれからもっと伊

仙町発展の可能性を全力で全町民とやっていくということをや、改めて確信したところでございませぬ。

問

私も政治活動をしなから、町民とのいろんな意見交換をしているわけなんです。都会からUターンしてきた80歳前後の高齢者夫婦と話をする機会がありました。そして最終的に言ったのが、ある業者が買収に来たということでした。氷山の一角と言いましたが、10軒回れば9軒がその買収の話です。これだけの話がこの小さな伊仙町で広がるということとは、組織的な買収計画だったと思わざるを得ませぬ。今一度、どう受けとめているのかを伺う。

答

(町長) 買収があるかないか、その実態については、私は分かりませぬ。ただ、そのようなことが行われているということは大変残念なことだと思ひます。伊仙町はあらゆる選挙で昔から、政争の町と言われ続けてま

いりました。政争から政策の町ということで、私は、そのようなことが実現しつつあると思っております。今回の選挙戦もよくよく考えてみると、昔に戻そうという、そういう動きがあったような気がいたします。それに、昔に戻ってはいけないという強い気持ちで私は今回の選挙戦、ずっと町民の声を聞いてまいりました。本当に今、そのことをもっともつと、全町民と話し合いをして進めていくのが私の責務だと考えております。

問

11月23日付の新聞に、伊仙町長選公職法違反事件で、継続捜査への意欲、という記事が掲載されました。今後捜査をするということになると思ひますが、今後、このような問題等が出てきた時の責任を町長はどう考えているのか伺う。

答

(町長) これは、私の思いとは全く別の状況の中でのいろいろな事件が起きていくわけでありませぬので、そのことに関して私からは、そのようなことが起きないよう願うだけであります。

問

南日本新聞(11月2日付)伊仙町長選買収、公然の秘密との記事について、トップリーダーとしての町長の意識改革、これからの伊仙町の発展のためには、いろいろと改善、指導していく必要があると思われませぬ。現在取り組んでいるCCR事業、地方創生事業等にも影響しかねないと考えられませぬが、同じことの繰り返しのないような政策を打ち出す、それが今、伊仙町にとっては一番大事な政策だと思われませぬが、今後の検討課題としてどう考えられるか伺う。

答

(町長) このような記事が出たことは、本当に残念なことでありませぬ。このようなことを払拭するための政策が最も重要である。と、美島議員が申しました。その為にはどうしたらよいかということ、私もしっかりと考え、いろいろな状況をもっと精査し、情報を集めながら、そのようなことを防げるかをやっていく。そのことが最大の政策ではないかと考えております。

教育面のさらなる充実を

問

今回は、初めて高校生が投票した選挙であったが、大人社会はこんなものか、と思われたら、伊仙町は未来永劫によくならない。今後、教育面からの指導のあり方等が問われるものと考えられるが、どのように認識しているのか伺う。

答

(教育長) 今後の、小中学校、特に中学校において、選挙制度の仕組みや、公正公平な選挙についての指導の充実を通して、高等学校との円滑な接続ができるようにしていきたいと考えております。

答

(町長) 子どもたちが、そのことで本当にショックを受けて、将来伊仙町には帰らない、などということになれば、元も子もないわけでありませぬので、あらゆる方面から教育力推進には力をかけていきたいと思ひますし、企業版ふるさと納税を含め、ふるさと納税も伊仙町はやつと3、4000万円程度に伸びてまいりましたので、今後、教育面を中心としたことに活用できたらと考えております。

議会の動き 平成29年第4回伊仙町議会定例会における諸般の報告(議長の動静)
 動静機関:平成29年第3回定例会(9月22日)以降の分

月	日	行事名	場所	月	日	行事名	場所
10月	5日	町営住宅(東伊仙西団地)地鎮祭	現地		13日	県後期高齢者医療広域連合議会	鹿児島市
	8日	伊仙町町民体育祭	義名山運動公園		15日	11月全員協議会	委員会室
	10日	徳之島用水事業完工式典来島者歓迎会	グラウンド オーシャン		18日	第3回ゆめ、ときめき徳之島地区いきいきねりんピクスポーツ大会	義名山体育館
	11日	徳之島用水事業完工式典・祝賀会	天城町		21日	離島振興市町村議会議長会全国大会	東京
	13日	町営住宅(東伊仙東団地)地鎮祭	現地		22日	町村議会議長会全国大会	東京
	17日	営農技術経営研修会	農協会館		24日	奄美群島広域事務組合議会	喜界町
	19日	にっぽん丸歓迎セレモニー	平土野港		26日	文化講演会	天城町
	27日	10月全員協議会	委員会室		28日	奄振予算要望活動・ティダネシア交流会	東京
11月	3日	産業文化祭	義名山体育館	12月	1日	定住促進住宅小島団地地鎮祭	現地
	8日	県議会環境衛生委員会意見交換会	中央公民館		7日	議会運営委員会	委員会室
	11日	犬田布中70周年記念式典	犬田布中		12日	平成29年第4回定例会	議事堂
	12日	町駅伝大会	町内				

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。



第1回 広報編集委員会の様子

**広報編集委員も
新メンバーでスタート**

町民及び読者の皆様に、読みやすく、分かりやすい「議会だより」づくりを心がけていきますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

編集後記

町民の皆様、毎日のお仕事お疲れ様でございます。また、農家の皆様におきましては、農繁期真っ只中で、さとうきびやバレイシヨの収穫等、猫の手も借りたいほど、ご多忙の事と拝察申し上げます。

さて、私も伊仙町議会におきまして、1月に行われた町議会議員選挙にて14名の議員が誕生し、新たな議会構成のもと今後も活発な議論を行い、町政発展のため、努力して参る所存でございます。

私たち広報編集委員も新メンバーでスタート致しました。年齢や社会経験、議員在職年数もまったく異なる5名の委員で、それぞれの持味や感性を生かし町民の皆様により分かりやすく、親しみやすい「議会だより」を目指して紙面構成の改善に取り組んで参ります。

最後に、町民の皆様のご多幸と、伊仙町の発展を願う「志」は、14名の議員全員が抱いており、議会一丸となって邁進して参りますので、今後とも議会に対するご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。編集後記といたします。

(文責 前 徹志)

議会広報編集委員会

- 委員長 前 徹志
- 副委員長 杉山 肇
- 委員 福留 達也
- 委員 上木 千恵造
- 委員 佐田 元